

1 「西若松自由通路」待望の完成

会津若松市の西若松駅に、JR只見線と会津鉄道線をまたいで、東西市街地を結ぶ「西若松自由通路」が開通しました。

この自由通路によって、歩行者、自転車の利用者が通行できるようになり、西若松駅と一体の施設であることから、通勤・通学等も非常に便利になります。

また、この自由通路は利便性だけでなく、憩いの交流空間スペースや災害時の避難場所など多機能な公共空間としての活用も可能であることから、地域間の交流や観光など地域振興へ大きく貢献するものと期待されます。



全体計画図

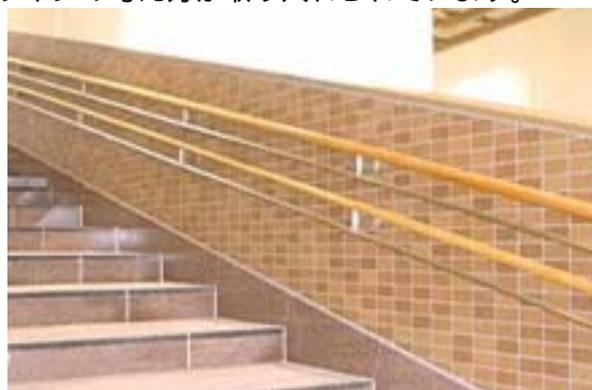


施設の紹介

西若松自由通路内の施設には、ユニバーサルデザインの考え方が取り入れられています。



エレベーター内で回転する必要の無い
二方向出入口が採用されております。



手摺を二段に設け、端部には点字案内
が設置されております。

上記以外にも、全ての人が早く利用して頂けるようさまざまな工夫がされております。

2 「県外のまちづくり情報」 ~ 愛媛県喜多郡内子町 ~

(1) 愛媛県喜多郡内子町の紹介

愛媛県喜多郡内子町は愛媛県のほぼ中央部に位置し、県都松山市から約40Kmの地点にあります。町の中央部を一級河川・肱川の支流である小田川が流れている風向明媚な町です。

町の面積は299.50Km²(県内では会津若松市が343.46Km²)で、その広がり東西30.0Km、南北27.0Kmにもなり、平成17年1月1日に3町が合併し新内子町が誕生しました。

内子町は下記に示すような歴史的建造物を活用したまちづくりを行っております。

(2) 八日市・護国の町並みの紹介 (重要伝統的建造物群保存地区)

内子町は、江戸時代中期から昭和初期までに建てられた商家や蔵等が現在でも数多く存在しています。(商家と蔵の数を合わせて89棟)

当時の面影を残す建物が600mにわたり残っているこの通りは、「八日市・護国の町並み」と呼ばれ、昭和57年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」として認定されました。



重要伝統的建造物群保存地区



重要伝統的建造物群保存地区



重要伝統的建造物群保存地区



重要伝統的建造物群保存地区

(3) 内子座の紹介

内子座は大正5年(1916年)に大正天皇即位を祝って建設された歌舞伎劇場です。大正時代の建物であるため老朽化が著しく、一時期解体して駐車場という意見が出たそうですが、修理の気運が高まり昭和60年(1985年)に、大正期そのままの姿に甦り現在では愛媛県内に現存する唯一の芝居小屋だそうです。

現在でもコンサートや講演会、文楽等さまざまな催し物に活用されています。



内子座の全景



正面入り口付近



内部状況



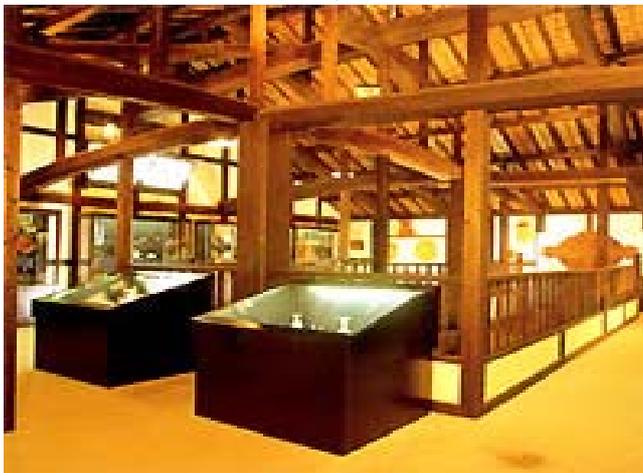
舞台下(奈落)の様子

(3) 八日市護国町並保存センターの紹介

このセンターは町並保存会の事務所を兼ね備え各種会合等を行っています。センター内では町並み保存に関する資料を提示し観光に関するインフォメーションも行っています。



町並保存センター全景



町並保存センター内部

3 トピック ～まちづくりシンポジウム開催～

まちづくりについては、行政主体から県民・地域団体・NPOなど官民を問わず多様な連携と協力のもとでの推進が必要とされています。

そこで県では県民のみなさんのまちづくりに対する積極的な参加を促すため、平成15年度からシンポジウムを開催しております。

今年度は「学生と地域団体の連携によるまちづくり」と題し、まちづくりの取り組み状況の事例発表等を予定しております。

是非、みなさんもお気軽に足をお運びください。

日 時：平成17年11月12日(土) 13:00～

場 所：北方風土館 昭和蔵(喜多方市)

内 容：(1)すばらしいまち写真コンテスト表彰式

(2)講演会

(3)シンポジウム

講 師：東京大学教授 北沢 猛 氏

4 ちょっと一息 ～名湯・道後温泉～

今回「県外のまちづくり情報」でご紹介しました愛媛県には、「日本最古の名湯・道後温泉」があります。道後温泉といえば、建築から100年以上経った本館は大衆浴場としては初めての国の重要文化財としても知られています。

それ以外にも、松山市内を「坊っちゃん列車」という蒸気機関車が走っています。

坊っちゃん列車とは、小説「坊っちゃん」で、その登場人物の多くがこの蒸気機関車を利用したことからこの名前がついたそうです。

「歴史を感じながら蒸気機関車に乗り、日本最古の名湯を愉しむ・・・」風情がありますよね。



道後温泉本館



坊っちゃん列車



足湯(ちなみに無料です)

5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol.17」はいかがでしたでしょうか。

今後も充実した内容となるよう努力していきたく思いますので、取り上げて欲しい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、
よろしければ、**5. 性別、6. 年齢**を記入の上、**まちづくり推進グループのメールアドレス**まで希望する旨ご連絡下さい。(E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp)

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】 福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電 話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp

U R L: <http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html>